

病 経 第 690-2 号
令和 8 年 3 月 12 日

入札参加申込者 殿

沖縄県病院事業局長
(公 印 省 略)

遠隔医療情報システム管理業務一般競争入札に係る質問事項について (回答)

令和8年2月 25 日付けで公告したみだしの入札に係る手続き及び仕様等に対し、令和 8 年 3 月 9日までに寄せられた質問について、以下のとおり回答します。

	質問	回答
1	資料名:【別紙 1】入札参加にあたり提出する書類等説明書 提出書類の部数について確認になります。 提出書類は"1 組"でよろしいでしょうか。 納税証明書などは写してもよいですか。	契約部数は一部でよいです。 証明書は写しで結構です。
2	資料名:【別紙 1】入札参加にあたり提出する書類等説明書、【別紙 2】入札保証金説明書 提出書類の営業実績証明書について確認がございます。「オ 過去3箇年の間に官公庁と同種同規模の実績を証する書類又は官公庁以外と同種同規模の契約実績を証する書類(第2号様式)」について、「入札保証金説明書(P.3)の営業実績証明書」と同じになるのでしょうか。別紙 1 の3ページの"第2号様式"について、別紙 2 の3ページの"様式 2"または「ワードデータ(DOC:41.5KB)」のファイルの"様式 2"は同じになり、そのまま利用してよいでしょうか。また、記載している"様式 2"のままでもよろしいでしょうか。	同じでよいです。 入札参加資格及び入札保証金免除にかかる証明書として扱います。

3	<p>資料名:遠隔医療情報システム保守管理業務に係る入札説明書</p> <p>(6) 入札執行の日時及び場所</p> <p>イ 改札日 令和8年3月 13 日 11 時</p> <p>開札時は、応札者(または委任者)の立ち合いになるのでしょうか。</p> <p>また、立ち合いになる場合、入札参加の了承後、開札場所のご案内なさるのでしょうか。</p>	<p>開札の立会は不要です。</p>
4	<p>資料名:【別紙 05】遠隔医療情報システム保守管理業務仕様書</p> <p>(4) 次年度計画しているネットワーク整備の対応</p> <p>①次期案件対応について、それぞれ具体的な作業時期や対応内容をご提示ください。</p> <p>②「設定変更、サポート、運用管理」とありますが、以下確認させてください。(詳細は次の行を参照のこと)</p> <p>・設定変更:設定変更に関する作業スケジュール、対象機器一覧、設定資料、手順書などは事業局様からご提示いただけるものと考えていいですか。また、設定変更による影響調査、事前設定テストなどは作業範囲にふくまれるのでしょうか。</p> <p>・サポート:具体的にはどのような支援を想定されていますか?このサポート対応も通常業務と合わせて常駐 1 名での対応を想定されていますか。それとも都度、追加要員を想定されていますか。追加要員を想定している場合、それを踏まえた人員体制をそうていすればいいですか。また、ネットワーク移転の支援などで現地における端末設置、LAN 敷設などの作業は作業範囲に含まれますか。</p> <p>・運用管理:次期更改などにより追加・変更されたネットワーク機器の最新一覧は事業局</p>	<p>①</p> <p>次回案件の予定時期は、以下の通りです。詳細な作業内容は現在検討中ですが、以下の項目を実現するために必要な付随業務を適宜実施していただくことになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊平屋診療所関係:令和8年4月～6月 ・クラウド化関係:令和8年4月～令和10年3月 31 日 ・拠点間ネットワーク関係:令和8年4月以降 <p>②</p> <p>・設定変更においては、病院事業局から現行システムに関する資料を提供します。本業務の技術者は、設定変更の実施にあたり、提供資料をもとに現行システムの構成や整合性等を確認した上で、関係者と調整を行い必要な作業を実施してください。</p> <p>・勤務時間の範囲内において、遠隔医療情報システムを安定的に運用するために必要なサポートを行うものとします。常駐技術者は1名としています。</p> <p>なお、追加要員を含めた体制の見直しについては、「遠隔医療情報システム保守管理業務仕様書」の6体制(7)において、方針を示しております。</p> <p>また、伊平屋診療所のネットワーク移設は、別業務として発注することとしています。ただし、現地対応が必要となった場合の渡航経費等については、双方で協議の上、別途精算させていただきます。</p> <p>・システム更改時の設定資料等は、システム更改を担当した事業者が納品した完成図書を基本とします。</p>

	<p>様からご提示いただくものとかんがえていいですか。また、追加・変更された機器の管理に必要な設定資料や定期タスク等の情報は事業局様側からご提示いただくものとの想定でよろしいでしょうか。</p> <p>・通常業務とのこれらの業務との優先度調整は、事業局様側で都度、ご指示いただけるものと考えてよろしいでしょうか。また、これらの作業も通常業務における報告内容にふくまれますか。それとも、別途報告になりますか。</p>	<p>・定期タスクについては「遠隔医療情報システム管理作業項目一覧」に示す作業を基本としますが、現行システムの保守事業者から適切に引き継ぎする場を設けますので、システムの安定運用に漏れないようご協力ください。</p> <p>・業務の優先順位付けが必要な状況においては、病院事業局から優先順位を提示します。</p>
5	<p>資料名：【別紙 05】遠隔医療情報システム保守管理業務仕様書</p> <p>6 体制</p> <p>8) コンピュータリソースが抽象化され、且つ、複数の情報システムを集約・統合することを目的とする情報システム実行基盤の安定的な運用が行えること。</p> <p>→VMWare などの仮想サーバ管理と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、対象一覧にはどのサーバが仮想化されたサーバなのか、記載が見受けられません。現状において、すでに稼働しているものと考えていいでしょうか。仮想化に関する設定資料等をご提供いただけたらと考えていいですか。</p>	<p>リソースが仮想化・抽象化された情報システムの実行基盤には、オンプレミス環境やクラウド基盤（パブリッククラウド等）が含まれます。</p> <p>現在、オンプレミスの仮想基盤を試験的に運用していますが、今後はクラウド化を進める計画です。そのため、本業務を担当する事業者には、仮想化技術やクラウドに関する知見を有することを求めています。</p>
6	<p>資料名：【別紙 05】遠隔医療情報システム保守管理業務仕様書</p> <p>(5) 業務の対応は、沖縄県庁の開庁日における業務時間内(8時30分から17時15分まで)を標準とする。ただし、それ以外の場合であっても、病院事業局経営課職員とメール又は電話等で連絡を取りインシデント等の緊急対応できる体制にあること。</p> <p>→「緊急対応できる」とありますが、夜間、休日などで執務室へ入館する場合は事業局様</p>	<p>夜間、休日などで執務室へ入館できるよう手配し、基本的に病院事業局の職員も立ち会います。</p> <p>対応開始時間は具体的な数値を定めておりませんが、保守技術者と病院事業局の職員間で適宜調整を行い、トラブルの緊急性や影響範囲を勘案し、迅速な対応に努めてください。</p>

	<p>の立ち合いをしていただけるのでしょうか。また、電話・メールなどの連絡から執務室にて対応を開始するまでの時間はどのくらいを想定していますか。</p>	
7	<p>委任状には、代理人の印鑑の押印箇所があり、その前提での入札書に係る質問です。</p> <p>入札書の押印が3つ考えられますので、どちらになりますでしょうか？</p> <p>① 代表者のみ押印が必要</p> <p>② 代表者と代理人の両方の押印が必要</p> <p>③ 代理人のみ押印が必要</p>	<p>委任状を提出し代理人が入札を行う場合、入札書への押印は代理人の印(③)のみで差し支えありません。</p>